

1 - 1 北海道とその周辺の最近の地震活動 (1984年11月 - 1985年5月)

Recent Seismic Activity in and around Hokkaido (November, 1984 - May, 1985)

北海道大学 理学部
Faculty of Science, Hokkaido University

この期間の浅発地震の震央分布を第1図に示す。主な地震活動として次のものがあつた。

① 1984年12月18日06時からエトロフ島沖で群発地震活動が始まり、約1週間続いた。最大地震は18日08時30分と同57分で各々M5.9。②同じ日の13時から秋田県沖(1983年日本海中部地震の余震域の南端付近)で、M5.3を主震とする「前震-本震-余震」型の地震活動が始まった(第2図, 第3図)。

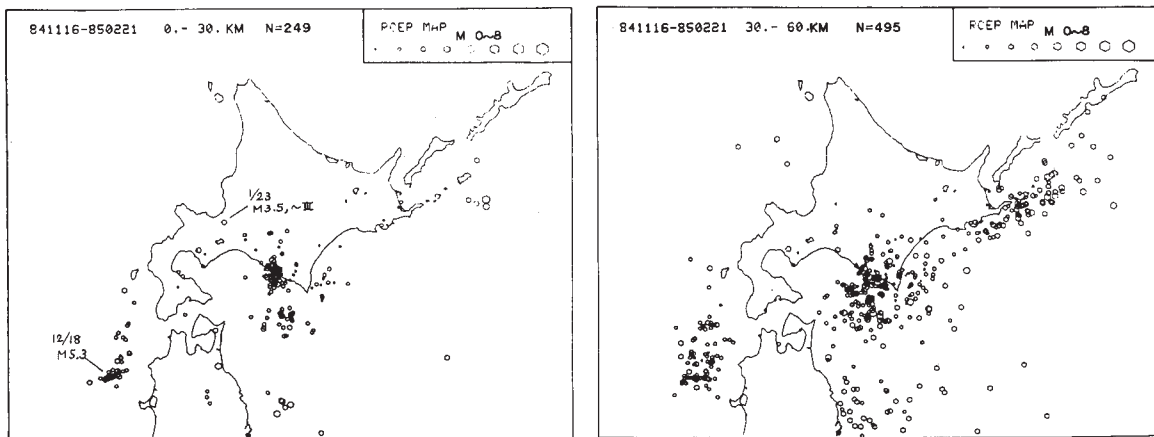
1984年3月に、奥尻島群発地震→広尾沖の地震活動→エトロフ島沖の地震活動が、一週間の間に続いて発生したことを指摘した¹⁾が、今回は同じ日にエトロフ島沖①→秋田県沖②で地震活動が発生した。これらの事実は、地震活動が北海道程度の空間的拡がりでかなり短い時間で関連している可能性を示している。

1985年1月23日に札幌直下に震源をもつ有感地震が発生した。これについては別に報告²⁾する。このほかにも、第1図に示すように、北海道内陸にいくつかの局発有感地震と稀な無感地震が発生している。
(本谷義信)

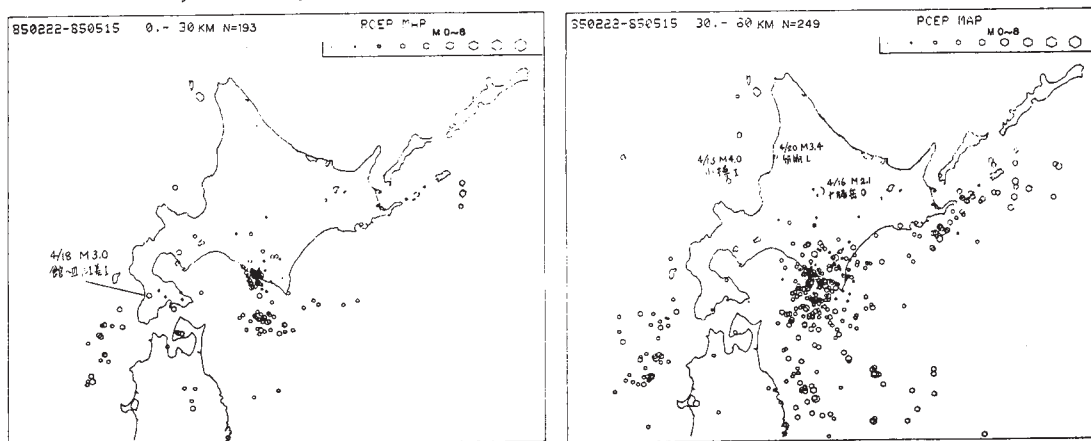
参 考 文 献

- 1) 北大理学部:北海道とその周辺の地震活動(1983年11月~1984年5月), 連絡会報, **32** (1984), 1 - 4.
- 2) 北大理学部:1985年1月23日札幌直下の有感地震(M3.5)について, 連絡会報, **34** (1985), 4 - 5.

1984 November 16 ~ 1985 February 21

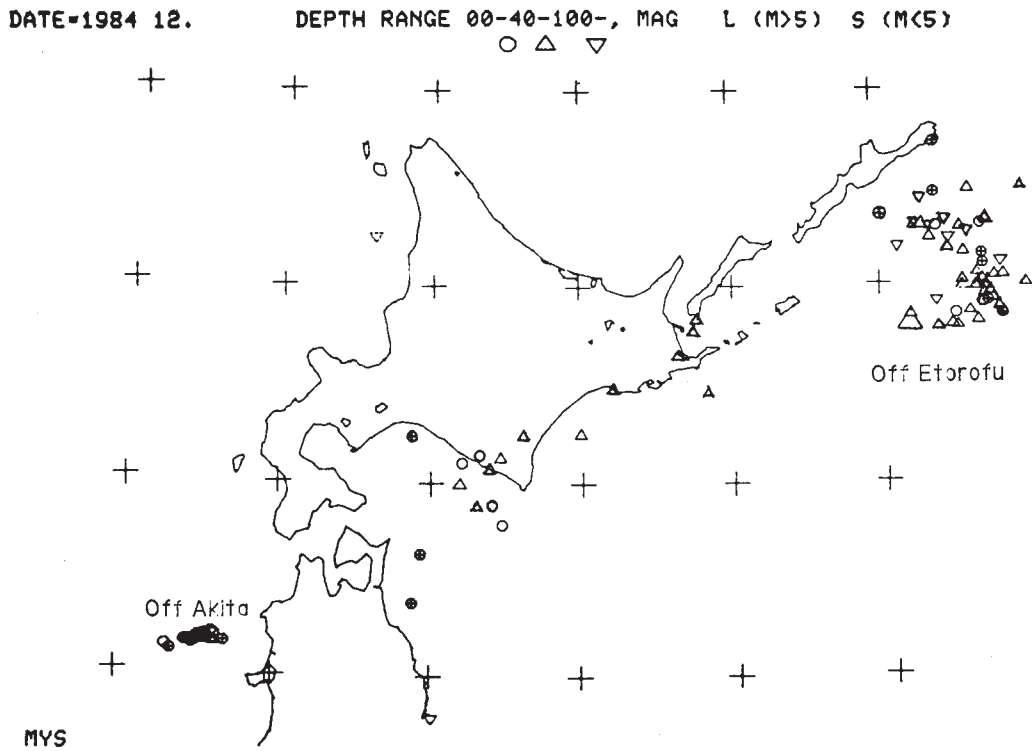


1985 February 22 ~ May 15



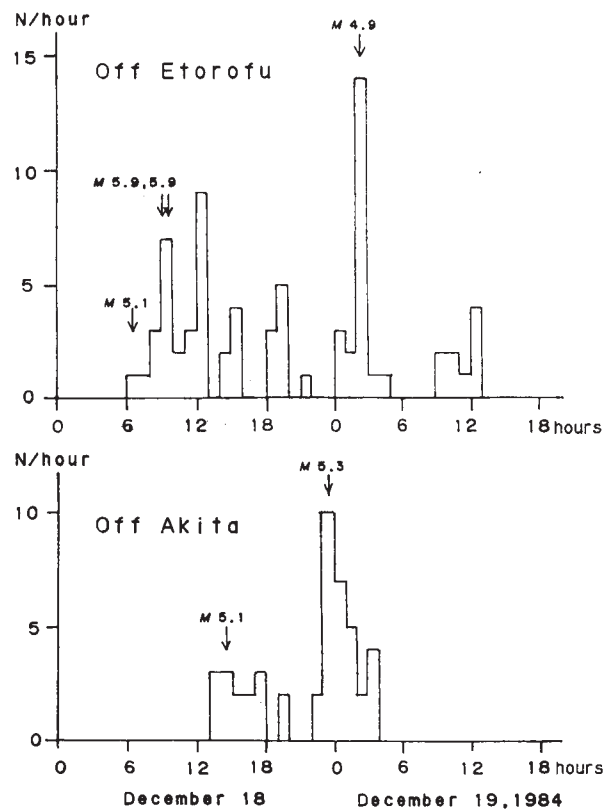
第1図 北海道とその周辺の浅発地震の震央分布

Fig. 1 Epicenter distributions of shallow earthquakes in and around Hokkaido.



第2図 1984年12月18日の震央分布。秋田沖とエトロフ島沖に活動がみられる

Fig. 2 Epicenter distribution on December 18, 1984. Noticeable seismic activities occurred off Etorofu and off Akita.



第3図 エトロフ島沖（上）と秋田沖（下）の地震群の時間毎地震回数

Fig. 3 Hourly number of earthquakes clustering off Etorofu and off Akita in Fig. 2.